

50<sup>th</sup>

令和5年度5月号 [5月15日(発行)]

校訓 自主・協同・創造



# 岸川中だより

川口市立岸川中学校  
川口市安行領根岸374番地の1  
TEL268-4506 FAX268-4761  
特別支援学級 TEL268-7110  
さわやか相談室TEL268-4510  
<https://kishikawa.official.jp>

いま この時に 考えたいこと 普通 と 常識 と 当たり前 のところ

校長 松田 隆幸

「普通」とは ありふれたもの 自分の中で基準を定める事物に使います。特別ではないこと。通常、一般、尋常。

「常識」とは 社会的な基準が決められている事物。多くの人知っている事実。一般の社会人が共通に持つ普通の知識や意見、判断力を意味する。Common sense を福沢諭吉が人生の常情と訳した。

「当たり前」とは 行為や事物が義務である、当然である事物に使う。言うまでもない当然の事。そうあるべきこと、そうするべきこと 普通のことやありきたりの際にも使う。当然であること。当たり前のように、当たり前のことを、当たり前にする。

どうであろう?毎日 普通 と 常識 と 当たり前 が更新(アップデート)している。昭和30年代生まれの私の 普通・常識・当たり前は、世の中のそれと、少一し(自分では少しと思ひ込みたい期待を込めている)ズれていると最近思っている。中でもいわゆる Z 世代との差は明確だとつくづく思う。昭和生まれの私は、もはや平成も終わっているのに、何かにすがりつくかのように、聞こえていないかのように、顔を背けていやしないか?変わりゆく世の流れの速さを直視し、顔を背けることなく、せめて期待を込めてもいいから、数年後の先を予想しなければならないのではないか?と思う。

これまで私は親として、我が子たちが納税者として、自立する頃を想定して、育てようとしていたつもりだったが、果たして自分はできていたのだろうか?でも、あまりの社会の変化の速さの中であって、せめて想定する、想定したい未来の設定は?と問われたら、そう答えたいし、そのように答えてきたものだ。

不透明感を増すこの様な状況の中、中学生の親世代にとっても、我が子を世の中に送り出す不安は増すばかりであると思う。不安とは先が見えないから不安になる。答えがわからないから不安になる。せめて、見づらい、見えにくい世の中なら、自分で見える世の中を創り、見えるようにしてしまうのがよいのではないだろうか?世の中、世間、社会、世界を創り出す気概はあるか?エネルギーはあるか?志はあるか?もしかしたら、AI社会、グローバル社会、人口減社会にあって、必要となるのはこのようなものではないだろうか?「一つ起業でもしてやろうじゃないか!」そんな情熱的な若者に、生徒たちが育て欲しいと願うこの頃であり、これまでの自分と、この先の自分を、自分に問い続けていたそんなGWでした。

令和5年岸川中学校は創立50周年

2023 Kishikawa.J.H.S 50<sup>th</sup> ANNIVERSARY

